

ぎかいのひろば

6月定例会では、上程された17件の議案をすべて可決しました。

会期

5月29日(金)～6月12日(金)

★可決議案の内訳

条例の専決処分……4件

条例の一部改正……5件

補正予算……5件

その他……3件

議案および議員ごとの
表決一覧はこちら→



ココに注目!

議案第61号 湖西市議会議員の定数を定める条例の一部改正

議員定数の見直しについて継続して議論を行ってきましたが、本定例会において、定数を18人から16人に見直しができることになりました。また、定数の見直しに伴い、議員報酬や組織体制の見直しも行います。

項目	現行	見直し後	見直しのポイント
議員定数	18人	16人	2人削減します
議長	410,000円	470,000円	60,000円の引き上げ
副議長	375,000円	425,000円	50,000円の引き上げ
委員長	350,000円	400,000円	50,000円の引き上げ
議員	345,000円	395,000円	50,000円の引き上げ
常任委員会	3委員会	2委員会	1委員会を削減します

◆審議結果(「○」は賛成、「●」は反対、議長は採決に加わらない)

議案番号	結果	相曾桃子	山本晃子	寺田 悟	山口裕教	柴田 一雄	加藤治司	滝本幸夫	三上 元	福永桂子	菅沼 淳	土屋和幸	楠 浩幸	佐原佳美	竹内祐子	荻野利明	馬場 衛	神谷里枝	二橋益良
61	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	●	-	欠	○

議案に対する討論

【賛成討論】

議会とは市民の代表機関であり、説明責任を果たしながら、自らも改革を進めていく必要がある。今回の条例改正は、将来にわたり持続可能な議会を構築するための第一歩であり、市民の理解を得ながら議会改革を進めるための適切な判断である。

【反対討論】

議員は、市民の多様な意見や思いを受け止め、市政に反映させる役割を担うものである。定数の変更により、市民の声が届きにくくなり、市政への関わりが狭まるのではないかという懸念がある。

公共資産・インフラマネジメント

市内公共施設の利活用と歳入確保

Q. 湖西運動公園やアメニティプラザへのネーミングライツ導入や広告掲載、民間資金活用の考えは。

A. 本市では令和4年度にネーミングライツ事業要綱を策定し運用を開始したが、現在導入施設はない。施設広告は市役所、新居支所、アメニティプラザの電子モニターで実施。民間資金活用は学校給食センター建設や環境センター改修でPFIを採用。今後も各施設で導入や実施の可能性を検討する。



柴田一雄

浜松湖西豊橋道路

Q. 住民の不安や疑問に対し、市の対応を伺う。

A. 本事業は整備完了まで相当の期間を要する長期プロジェクトであると認識している。市としては、国・県と連携し地域課題を共有しつつ解決に取り組む必要がある。事業者には地域住民に寄り添った丁寧な対応を求め、実施段階では説明会の開催などにより理解と協力を得るよう適切に対処する。また、地域の課題を把握し解決に向けた取り組みを進めるとともに、市議会議員の協力も引き続きお願いする。



山口裕教

公共施設の自動販売機設置者

Q. 公共施設の自動販売機設置における契約方法の統一や選定基準の明確化についての市の考えは。

A. 自動販売機の設置は、施設ごとに法令などにに基づき許可を行い、管理者が設置可否を判断したうえで選定基準を明確化し設置者を決定しており、現状で特に問題はないと認識している。また、施設の設置目的や利用者のニーズに応じて環境整備を行うことが望ましく、窓口や基準の統一については現時点で考えていない。



菅沼 淳



▲浜松湖西豊橋道路のイメージ

産業・地域振興

持続可能な産業政策

Q. 地域企業理解やキャリア教育を、将来の地元就労・定住につなげる地域人材循環の取り組みとして、どのように位置付け、成果を把握するのか。

A. キャリア教育を受けた子どもたちが、将来どの程度地元企業への就職につながっているのか把握していきたい。企業見学や出前講座などを通じ、地域企業への理解を深める取り組みを進めるとともに、地元就労や定住につながる成果の把握方法について、担当部局と議論し検討していく。



榑 浩幸

工業・農業用水の水不足対策

Q. 工業・農業用水の確保に当たり、農家の声を拾って対応すべきだと思うが、現状と市の意気込みを伺う。

A. 農家の声を聞くことは重要である。市では西部農業経営士会やJAとびあ浜松青壮年部湖西支部、湖西用水土地改良区との意見交換会を多数実施し、活発な意見交換を行っている。吉美地区基盤整備事業もJAとの意見交換を契機に事業化したものであり、今後も農家の声を基に必要な施策を展開したいと考えている。



土屋和幸



▲企業見学の様子

新居漂流生還史の観光振興への展開

Q. 本事実について、今後観光において活用するつもりがあるのか伺う。

A. 近年の観光は「見る・泊まる」から心に残る体験型が主流であり、第3次湖西市観光基本計画でも体験観光の強化を重点事業としている。本件は遺構が残らず観光素材として打ち出しにくい、無人島生活の歴史的価値は高く、浜松・浜名湖ツーリズムビューローや湖西・新居観光協会と意見交換のうえ、活用される場合は市としても支援を行う。



山本晃子

子育て・教育

保育・教育施設のあり方

Q. 保育・幼児教育環境の維持や施設更新、地域バランスと、持続可能なまちづくりの方向性との整合について、市の考え方を伺う。

A. まちづくりの観点では、都市計画マスタープランや立地適正化計画に基づき、鷺津地区を中心に保育施設環境を整備・維持することを原則とする。一方、少子化や子育て世帯の状況は変化しており、その都度市民ニーズを把握し、民間施設と意見交換を行いながら適切に判断する。



相曽 桃子

不登校支援の見通し

Q. 不登校児童生徒や保護者への経済的支援について検討する考えはあるか。

A. チャレンジ教室と校内教育支援センターで不登校児童生徒を支援している。チャレンジ教室は令和6年度に指導員3人、校内教育支援センターは設置校ごとに各1人、計8人を配置している。フリースクール保護者への経済的支援は検討していないが、設備改善や人員維持・拡充に主眼を置き支援策を検討している。令和8年度は給食停止世帯に国交付金相当額を支給する方向で検討する。



三上 元

こどもの学校給食

Q. 不登校で学校給食を止めている児童生徒の家庭にも同額の経済的支援を講じてはどうか。

A. 令和8年度の給食無償化は、小学生は国の交付金、中学生は臨時交付金を活用して実施している。国の交付金における給食停止児童生徒の取り扱いは学校設置者の判断に委ねられ、全国統一の対応は定められていない。本市では、給食停止児童生徒の世帯にも同様の経済的支援が必要と考え、小学生は月額5,200円、中学生は6,000円の支給を検討している。



佐原 佳美



▲湖西市立中学校の給食

暮らしの安心・福祉・地域支援

高齢者デジタル支援

Q. 地域への外向型支援の必要性和、移動支援について研究し、取り入れていく考えはあるか。

A. 藤枝市の移動型支援や荒尾市の「スマホ教室カー」の事例は承知しているが、専用車両による巡回型支援は効果や費用の見極めが必要であり、現時点で導入は考えていない。今後は地域での外向型支援は有効と考え、出前講座に「スマートフォンによる情報収集」などを加え、身近な場所での支援方を前向きに検討する。



福永 桂子

免許返納と交通サービスの強化

Q. 高齢者の免許返納を促進するための公共交通強化や安心生活環境整備の計画について伺う。

A. 高齢者が免許返納を検討できる環境には、返納後の移動手段確保が重要と認識している。市ではコーちゃんバスを永年半額にするとともに、タクシー利用拡大などサービス拡充に取り組んでいる。また、地域のいきいきサロンなどで説明会や利用登録受け付けを行い、住み慣れた地域で安心して生活できるよう公共交通と移動支援の充実に努めている。



荻野 利明

湖西市指定避難所の開設・運営

Q. 避難者がお客さん扱いにならないよう実践訓練が必要と考えるがどうか。

A. 本市としても避難所運営における実践訓練は必要と考える。今年度の総合防災訓練は日曜日に実施することで参加者の増加が見込まれるため、多くの市民が集まる機会を活用し、マニュアルに基づく避難所設置訓練を実施していただき、訓練後には改善点を話し合い、マニュアルの見直しを継続的に実施することが重要であるとする。



二橋 益良

独居高齢者などの孤立化防止

Q. 多職種連携による湖西市版A C T(包括型地域生活支援プログラム)の導入について市の見解を伺う。

A. 包括型地域生活支援プログラムは有効と認識するが、本市の人口規模や財政・人的制約から全面導入は困難。一方、多職種連携による支援体制は重要であり、見守りネットワークや緊急通報システム、生活支援サービスなど既存資源を活用し、地域包括支援センターや民生委員などと連携して独居高齢者や地域住民が安全・安心に暮らせる体制を進める考えである。



寺田 悟





初開催

湖西市議会 議員チャレンジ 講座 参加者募集

「いつか挑戦したい」
「地域のために何かしたい」
そんなあなたへ

講座内容

- * 議員の仕事と活動内容
- * 選挙の準備と心構え
- * 政策提案・一般質問
- * 各議員と個別対話
- * 議場見学

8/29 土 10:00~11:00

10/ 5 月 19:00~20:00

※各開催日1週間前までの事前申込制※

POINT1 /

現役議員が答えます！

なぜ立候補した？
普段何をしてる？選挙の費用は？
仕事と両立できる？家族の反応は？
現役議員がリアルに語ります。

POINT2 /

少数数制

参加者ごとに分かれて議員が
お話を伺います。
大勢の前では聞きにくい質問も
お気軽にどうぞ！

POINT3 /

複数回参加可能

参加議員が交代して全3回開催
予定。(内容は同じです)
いろんな議員と話してみたい方
の複数回参加も大歓迎です！

対象

令和9年4月の湖西市議会議員選挙に立候補を考えている人
候補者の擁立を考えている人
将来、議員を目指したい人

参加人数

1グループの上限は3人まで

会場

湖西市役所 3階 委員会室

問い合わせ先 議会事務局

TEL.053-576-4791
FAX.053-576-0331

申し込みはこちら▶



議会だよりのアンケートに
ご協力ください。



次回は
令和8年11月15日発行予定です

議会だよりの編集委員会
委員長:馬場 衛 副委員長:竹内 祐子
委員:相曽 桃子、山口 裕教、寺田 悟

発行/湖西市議会
〒431-0492 静岡県湖西市吉美3268番地
TEL.053-576-4791/FAX.053-576-0331
<https://www.city.kosai.shizuoka.jp/gikai/index.html>

湖西市議会
公式サイトも
ご覧ください

